

今月のトピックス

第77回市民公開講座のご案内(詳細は4ページに掲載)

病院からのお願い

院内では必ずマスクの着用をお願いいたします。マスク着用のない方は、診察室への立ち入りをご遠慮いただきます。

ろうさいニュース

第234号 2022年1月1日

地域医療支援病院

労働者健康安全機構 新潟労災病院

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123 FAX：025(544)5210

地域医療連携室 電話：025(543)7190 FAX：025(543)7110

ホームページ：http://www.niigatah.johas.go.jp

ろうさいニュース 巻頭言 2022年1月号

病院長 入江 誠 治

謹んで新年の御慶びを申し上げます。一昨年から続く新型コロナウイルス感染症との戦いも2年を越え、繰り返し求められる様々な自粛や規制の影響は多方面に及び、社会経済活動のみならず我々の心身へのダメージも深刻化してきています。しかし一方ではワクチン接種が進み、治療薬も徐々に承認され、この困難な局面にも打開の糸口が見えてきました。

当院においてはマスク着用の義務や面会制限など患者・ご家族の皆様にご不便や忍耐をお願いしてきました。地域の皆様の御協力に支えられた日々であったと、心より感謝申し上げます。

日本中が翻弄された第5波では、自宅療養を余儀なくされた感染者が東京都だけでも2万人を超えました。医療の手が十分に届かず、自宅で容態が悪化し亡くなってしまう事例も発生しました。医療機関、行政機関の懸命な対応にも拘わらず現代の日本で必要な時に適切な医療が受けられない事態に陥ると誰が想像したでしょうか。ただ、上越地域で大きな混乱がなかったことは幸いでした。

今回のコロナ禍での全国的な医療逼迫は、新型コロナウイルス感染症のみならず、すべての患者に必要な医療を届けられる体制を維持することがいかに重要であるか、しかしそれがいかに脆く容易く崩壊してしまうものであるかを浮き彫りにしました。各地で発生したこの危機的状況は、上越地域における予てからの懸案である地域医療体制の再構築が急務であることを再認識させました。地域医療構想実現のため着実に歩を進めることが求められています。



「医」の中に「矢」があります
病む者へ、まずは矢のように駆けつける心情
そして矢が的の中心を射当てるように
“ズバリの的中”の診断をすることが身上

これは、吉野 弘の「医」という詩の一節です。

新潟労災病院は 吉野氏の詩う「矢」のように、今年も地域の皆様に寄り添う医療を提供すべく尽力致します。

末筆ながら旧年中に賜りました御高配に深謝致しますとともに、新しい年が皆様にとって佳き年でありますようお願い申し上げます。



診療科のお知らせ

■ 内科

- ・ 毎週木曜日に上越地域医療センター病院総合診療科 倉辻医師が診療を行っています。

■ 糖尿病内科

- ・ 毎週金曜日に昭和大学医師が交代制で診療を行っています。

1/7 山岸 昌一 1/14 川上 来知 1/21 竹鼻 伸晃 1/28 山岸 昌一

※ 診療は原則予約制です。ご予約は地域医療連携室にて承ります。
地域医療連携室（直通）：電話 025-543-7190



「術中神経モニタリング検査」で安心・安全な手術を

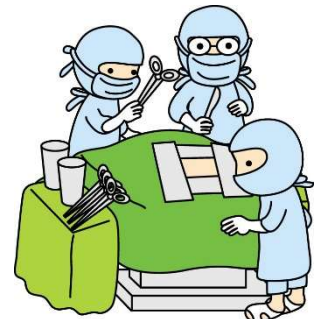
臨床検査技師 土屋 誠

術中神経モニタリング検査は、全身麻酔下の手術中に患者様の神経の状態を客観的に評価する検査です。臨床検査技師が医師・看護師等と連携を取りながら手術用ベッドの側で行っています。手術操作による患者様の変化をとらえ、未然に麻痺等の後遺症を回避・防止する事が目的です。術後の麻痺等の神経機能障害は生活の質に重大な影響を及ぼすだけでなく、超高齢社会において介護や総医療費の増加にも関係する重要な課題となっています。

術中神経モニタリング検査にはいくつか種類がありますが、当院では主に「フリーランEMG (free-run electromyography 持続筋電図)」という検査を行っています。この検査は整形外科脊椎領域のほぼ全ての手術で施行されています。「フリーランEMG」の良いところは患者様に針などを刺さずに非侵襲的に検査を行えるところです。以前は他の多くの医療機関で選択されている「MEP (motor evoked potential 運動誘発電位)」という検査を当院でも行っていました。しかしこの検査は患者様の頭部を電気刺激して手足の筋肉の反応を確かめるというもので、電気刺激するために金属製のスクリー電極を頭皮に刺し込まなければいけません。一方「フリーランEMG」はシールタイプの電極を貼り付けるだけで検査が可能であるため、患者様にかかる負担がより小さいやさしい検査です。

ここからは「フリーランEMG」検査の流れを説明していきます。患者様に全身麻酔が導入された直後、臨床検査技師が医師から指示された数か所の筋肉上の皮膚にシールタイプの電極を貼り付けます。それぞれの電極はコードで装置に繋がっており、装置の画面にほぼ直線の波形が表示されます。その後手術が進行して行きますが何かしら神経に異常が発生すると装置の画面上に異常波形（激しく上下する波形）が現れます。その場合、臨床検査技師は直ちに「異常波形が出たこと」・「どのくらい続いているか」を医師に伝えます。報告を受けた医師は一旦手術を停止し神経の回復を待ちます。まもなく波形は落ち着き元に戻ります。その後は異常波形が出ないように対応して手術を進めていきます。臨床検査技師は手術がほぼ終わりになるまで異常波形の監視（モニタリング）を続けます。

このようにして私達は術中神経モニタリング検査を行い、迅速に異常波形を捉えることで患者様に手術の後遺症が残らないよう細心の注意を払っています。



★★ 第77回市民公開講座のご案内 ★★

日 時 : 令和4年 2月 19日(土)

午前10時00分～11時30分

(開場 午前9時30分)

場 所 : リージョンプラザ上越 2階コンサートホール

講演題名 : 「老いを防ぐ賢い生活の知恵」

— 今日からできる10歳若返り術 —

講 師 : 昭和大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学

山岸 昌一 教授

参加費 : 無 料



【山岸教授プロフィール】

上越市出身。高校生の時、新潟労災病院に長期間入院し、その手厚い看護に感銘し、医師を志す。

現在、東京の大学病院で内科の教授職を務める傍ら、月に1度、新潟労災病院で総合内科専門医、糖尿病専門医、循環器専門医として地域医療に従事している。平成元年金沢大学医学部卒。米国留学を経て、久留米大学医学部教授を10年勤め、平成31年より現職。老化研究の世界的権威で、これまでにアメリカ心臓協会最優秀賞、日本糖尿病学会学会賞、日本抗加齢医学会学会賞などを受賞。日本抗加齢医学会理事。日本抗加齢協会理事。

最近では、「ためしてがってん」、「あさいち」、「たけしのみんなの家庭の医学」、「羽鳥慎一モーニングショー」などのテレビや新聞を通じて、老いを防ぐ生活術について啓発活動を行っている。一般向け、著書多数。

新潟労災病院の理念

“働く人の健康を守り、地域医療に貢献します”



新潟労災病院の基本姿勢

1. 良質で安全な医療を行います。
2. 患者の権利を尊重し、患者中心の医療を行います。
3. 急性期医療、回復期医療を通じ、地域医療における中核的な役割を担います。
4. 働く人の健康を守ります。

患者さんの権利

1. 人間としての尊厳をもって医療を受ける権利
2. 当院の提供する良質で安全な医療を受ける権利
3. 自らの健康状況を理解するために必要な情報を、当院から得る権利
4. 当院の提供する医療の内容および予測される結果について説明を受ける権利
5. 他施設の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
6. 当院から必要な説明を受けたうえで、自分の自由な意思に基づいて選択し、あるいは拒否する権利
7. 診療に関する記録の開示を求める権利
8. プライバシーが保たれる権利
9. 医療費の報告および医療費の公的援助に関する情報を受ける権利

患者さんの責務



1. 自らの健康に関する情報を正確に医療者に伝える責務
 - ・最適な検査や治療を受けるために、自身の健康に関する情報を詳しく正確に提供してください。
2. 診療等に関して自らの意思を明らかにする責務
 - ・医師から十分な説明を受けた上で、診断・治療方針について、自らの意思を明らかにしてください。
3. 診療等に関する指示や助言を守る責務
 - ・診療を円滑に受けるため、医療従事者の指示や助言を守ってください。
4. 病院の規則に従い職員や他者へ迷惑を掛けない責務
 - ・すべての患者さんが、安全で良質な医療を受けられるように配慮するとともに、当院職員が適切な医療を行うのを妨げないよう協力してください。



フレイル予防健診を受けませんか？

フレイルとは、要介護になる手前のバイタリティ（エネルギーに満ち溢れている状態）が低い状態を指します。



血液・尿検査、問診・診察等の基本的な項目に加え、一人ひとりの状態に合わせて専門のスタッフがアドバイスを行います！

- ① 基本項目＋嚥下・咀嚼の評価、指導＋運動指導＋栄養指導
- ② 基本項目＋嚥下・咀嚼の評価、指導
- ③ 基本項目＋運動指導＋栄養指導



料金（税込） 33,000円～

お電話または医事課 〇番窓口にてお申込みください。

TEL 025-543-3123（内線 1233）

健診部からのお知らせ

人間ドック基本コース

○胃の検査について「内視鏡」「X線」のいずれかを選択できます。

○「がん検診・生活習慣予防コース」「感染症検査」をオプションとして追加できます。

◆内視鏡検査を選択される方

- ・料金 44,550円(税込)
- ・実施日 水曜日 8:15~



身体計測	身長 体重 腹囲 BMI(肥満度)
眼と耳の機能	眼圧 視力 聴力
問診 診察	情報提供と説明 指導
胸部X線	
消化器	内視鏡検査(経鼻又は経口) 便潜血検査(2回法)
腹部超音波検査	肝臓 胆嚢 膵臓 脾臓 腎臓 腹部大動脈
生理機能	呼吸機能 肺年齢 血圧 心電図 心拍数
血液	肝腎機能 血糖 脂質 血球 炎症反応 血液型(初回) 血液凝固検査
尿検査	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈渣

◆X線(バリウム)検査を選択される方

- ・料金 39,550円(税込)
- ・実施日 第1・3金曜日 8:15~

※下記項目の検査以外は、内視鏡検査を選択された場合と同様です。

消化器	X線(バリウム)検査 便潜血検査(2回法)
血液	肝腎機能 血糖 脂質 血球 炎症反応 血液型(初回)

※胃の検査なしでの申し込みも受け付けておりますので、お申し込みの際お問い合わせください。

※オプションとして+3,300円(税込)で腫瘍マーカー検査を追加できます。

男性:CEA、CA19-9、PSA 女性:CEA、CA19-9、CA125

※人間ドック基本コースには、院内食堂「エデン」又は売店をご利用いただける利用券をお付けしています。

お手軽ドック(生活習慣の簡易コース) 13,750円(税込)

お手軽ドックでは、特定健診をさらに進めて胸部X線、心電図、尿検査を行います。

※予約が必要ですが、来院時間をご都合に合わせて決めていただけます。

身体計測	身長 体重 腹囲 BMI(肥満度) 問診		
血圧	心電図	胸部X線	尿(糖 蛋白 潜血)
血液 (肝・血糖・脂質)	AST(GOT) ALT(GPT) γ -GT(γ -GTP) 血糖 HbA1c Cre 中性脂肪 HDL・LDLコレステロール 赤血球数 血色素量 ヘマトクリット値		

がん検診・生活習慣予防コース

★は1日ドック、●はフレイル予防健診に含まれます。

		内 容	料金(税込)
がん検診	①甲状腺	ホルモン測定 甲状腺エコー	8,250円
	②肺	低線量肺CT	9,900円
		低線量肺CT 腫瘍マーカー ※腫瘍マーカーは男女で一部異なります	13,200円
	★③胃	内視鏡 血液凝固検査	16,500円
	★④大腸	便潜血(2回)	1,650円
	⑤肝胆膵	★●腹部超音波 肝炎ウイルス(B型、C型)	8,195円
	⑥前立腺	PSA	1,870円
	⑦乳腺	マンモグラフィ 乳腺エコー	10,120円
		マンモグラフィ	6,380円
⑧子宮	内診 子宮頸部細胞診 子宮卵巣エコー(子宮体がんの検査を含む)	4,400円	
⑨アミノインデックス	男性(胃、肺、大腸、すい臓、前立腺)	25,300円	
	女性(胃、肺、大腸、すい臓、乳、子宮・卵巣)		
生活習慣予防	●⑩頸動脈の動脈硬化	頸動脈エコー	6,050円
	⑪内臓脂肪測定	腹部CT	3,300円
	⑫骨密度	X線(腰椎+大腿骨頸部)	4,950円
	●⑬筋力測定	骨格筋量(筋肉量)、体脂肪率測定	550円
感染症	⑭肝炎ウイルス	B型(HBs)、C型(HCV)	2,365円
	⑮HIV	HIV	1,430円

歯科ドック (基本コース) 5,000円 (税込)

歯科ドック (パノラマ撮影コース) 11,000円 (税込)

基本コース	問診・歯周病検査・プラークや歯石の付着・口腔乾燥度・冠、ブリッジ、義歯の状態・結果説明
パノラマ撮影コース	問診・歯周病検査・プラークや歯石の付着・口腔乾燥度・冠、ブリッジ、義歯の状態・X線撮影での骨病変の有無の確認・結果説明

すべて予約制です。

下記①②のいずれかの方法でご予約ください。

- ① お電話または医事課0番窓口にてお申し込みください。
電話 025-543-3123 内線(1233) 平日 8:30~16:00
- ② ドック・検診申込書(新潟労災病院ホームページ(<http://www.niigatah.johas.go.jp/>)よりダウンロード)に必要事項を記入し、新潟労災病院医事課へ郵送またはFAXしてください。
〒942-8502 新潟県上越市東雲町1-7-12
新潟労災病院医事課健診担当 FAX 025-543-7110



散 歩 道



新しい年を迎え、元号が令和に代わってからもう4年目になり、もうそんなに経ったのかと時間の流れの早さを実感してしまいます。では昨年は今頃は何をしていたのか振り返ってみました。昨年のこの時期といえば、忘れもしません記録的な大雪です。

新潟県は記録的な積雪に見舞われました。数十年ぶりとなる積雪により多くの人々に影響を与え、病院に行くことすら困難な状況でした。朝早く起きて雪をかき、仕事が終わりに家に入るためにまた雪をかく。常に雪との闘いの日々を送っていたと記憶しております。今まで生きてきてこれほどまでの大変な冬は体験したことはありませんでした。また食料や備品の調達も大変で、普段から備蓄をしておけばと後悔もしました。



さて今年の冬はというと、なにやらラニーニャ現象とよばれるものが発生し、例年よりも寒いのではないかと囁かれます。昨年の経験から冬の備えを万端にし、よりよい1年のスタートが切れればよいなと思います。

(K・K)